



# 鳥獣保護管理プランナー

加藤 ななえ

NPO法人バードリサーチ

事業内容

鳥獣被害対策研修会

事業の背景

対象鳥獣  
カワウ

活動地域  
静岡県

カワウによる被害地のひとつである富士宮本宮浅間大社は、世界文化遺産に登録されており、大社内でカワウの飛来がある湧玉池は国の特別天然記念物指定を受けている。参拝客や観光客も多いため、銃器の使用禁止はもちろん、対策には工夫が必要な場所であったことから、カワウ対策についての理解を得るための研修会を開催した。



写真1：富士桜墓地公園のカワウコロニー

依頼を受けて実施した内容

市の担当者とともに市内唯一のカワウのコロニーを視察し、群れの規模や繁殖段階などの現状を把握した。また被害が訴えられている場所では、対策が実施される場合に制限となる事柄や注意すべき点（音の出る追払いの実施やテグス張りなど工作物の設置等の制限）について担当者に聞き取りを行った。



写真2：カワウが飛来する湧玉池



写真3：富士宮市カワウ研修会

カワウの研修会の開催は富士宮市としては初めての企画だったため、まずは参加者に基本的なことを理解してもらうために、カワウの生態や生息状況の変遷などについて話した上で、富士宮市におけるカワウの生息状況などについての概要を説明した。

講義の後には、カワウによる被害を訴えている養殖業者や漁協のほか、カワウのモニタリングを実施している日本野鳥の会の地元支部などの関係者を交えて、現状把握のための情報交換を行なった。日頃からの思いを発言できる機会ということで、一人一人の発言時間が長くなり、予定の時刻を過ぎてしまうほどだったが、それぞれの立場と訴えたいことを整理することができた。

今回の会合の結果を踏まえて、望まれる対策のためには何が必要になるのか、実施体制はどうするのか、そして対策実行に当たって想定される課題などにも触れながら、具体的な話し合いを今後も進めていく。